

4 どんな「貨物」が、どれくらい運ばれているのかな？

富士山静岡空港の貨物取扱量の推移

路線	航空会社	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	合計	主な貨物
静岡→札幌便	ANA (全日本空輸)	49.5	105.8	160.0	184.5	485.7	自動車部品、医療用器具、うなぎ等
静岡→沖縄便	ANA (全日本空輸)	36.5	61.4	216.7	179.2	477.6	家電販売品等
国内線合計		86.0	167.2	376.7	363.7	963.3	
上海→静岡便	中国東方航空	—	31.9	114.6	166.3	312.8	衣類、雑貨、機械部品等
ソウル→静岡便	アシアナ航空	—	1.9	10.1	21.8	33.8	電子部品、雑貨等
台北→静岡便	チャイナエアライン	—	—	—	32.6	32.6	胡蝶蘭の苗等
国際線合計		—	33.8	124.7	220.7	379.2	
合計 (国内+国際)		86.0	201.0	501.4	584.4	1,342.5	



単位:トン

静岡新聞 平成21年(2009年)6月5日掲載記事

静岡新聞 平成24年(2012年)6月26日掲載記事

沖縄、札幌へ「初荷」

静岡空港が開港した4日、全日本空輸による沖縄、札幌への航空貨物輸送も始まった。

同日夕の札幌便B737-700型旅客機の客席下部の貨物室には、段ボール箱で梱包(こんぽう)されたバンパーなど、自動車補修部品60キと、電気製品140キが「初めて」積み込まれた。荷として積み込まれた。同機は最大で約3000キ積むことができた。の需要を見込めるのは、静岡の企業は熱心だし、機部品だけでなく、焼津清水の魚介類、多彩な産物もある。今後の伸びが期待できる」と話した。

全日空・札幌便に積み込まれる航空貨物—静岡空港

国際航空貨物の利用拡大へ 県などトライアル輸送

静岡空港利便性アピール

県などは静岡空港の国際航空貨物の利用拡大に向け、輸送費や通関費などを補助するトライアル輸送に乗り出した。第一弾として25日に台湾産コショウランの苗の輸入を支援。物流事業者に対して輸送のしやすさなど静岡空港の利便性をアピールし、継続的な取扱量確保につなげる。

「台北便の定期便就った。チャイナエアラインの苗を輸入し、業務を担った銘与(静岡市)の石川洋樹(富士宮市)も「植物以外の輸出入も検討したい」(34)はメリットを強調」と前向きな姿勢を示した。

これまで苗の輸入には成田空港を利用していたが、トライアル輸送で初めて静岡空港を活用。新東名高速道の開通効果もあって輸送時間が大幅に短縮され、苗の温度管理に必要なコストの削減も期待できるといふ。物流



Q.航空貨物を利用するメリットはなんだろう？

A. 航空貨物輸送のメリットは、遠くの地域や国々へ貨物を短時間で運ぶことです。生鮮食品などのように新鮮さを要求されるものや、半導体や電子部品、医療用器具のように小型で高価な製品などが運ばれています。航空貨物の市場は世界経済、とりわけ新興国の発展に伴い成長が予想され、日本の真ん中に位置し、高速道路や鉄道、港へのアクセスが良い富士山静岡空港の航空貨物利用の増加が、今後ますます期待されます。

す。トライアル輸送は航空貨物を他空港から静岡空港に振り替えた場合に増加した経費を補助する事業で、予算は300万円。

県は2013年度の航空貨物取扱量の目標を3千キとしているが、11年度は501キにとどまっている。静岡空港の航空貨物はベリ部と呼ばれる機体胴体部の貨物室の利用が主で、大口輸送は難しい。このため成田や中部など近隣の空港を補助する県内企業が多いのが実情だ。

県文化・観光部の渡井務理事は「輸送時間の短縮などのメリットを物流事業者に働き掛けて、需要を増やしていきたい」と話している。